

上田西 2年連続準決勝へ

第105回全国高等学校野球選手権記念長野大会準々決勝



号外

号外
発行
2023年7月24日
上田西高 校会
新聞委員 局
編集局長：嶋田 晴佳
新聞委員長：樋口 華
水出 楓香
金井 茉優
レイアウト：樋口 華

東海大諏訪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上田西	1	0	0	1	0	0	0	0	0	×	2



4回裏、1死満塁から岩下の中前適時打でホームに生還する片平結絆 (進学3年=丸子北)

戦評

昨年度の優勝校である佐久長聖を下し、勢いに乗る東海大諏訪に上田西が競り勝った。先発したエース権田成也(進学3年=赤穂)は足の痙攣により7回途中で権田の後を受け無

死1、2塁で登板した滝沢一樹(進学3年=上田第一)は、このピンチを併殺で凌ぐと、その後3回を無失点と好調東海大諏訪打線を抑えた。打線は相手の失策を見逃さず2得点。3回戦までの「打ち勝つ野球」からここ2試合は盤石な投手陣を軸に「守り勝つ野球」で見事勝利。上田西は2年連続の準決勝進出を決めた。(水出 楓香)

第105回全国高等学校野球選手権記念長野大会 準々決勝スターティングメンバー

1	中村 太軌	3年	伊那東部
2	黒岩 大都	3年	高山
3	横山 聖哉	3年	上田第四
4	小林 遼太郎	3年	丸子
5	片平 結絆	3年	丸子北
6	木次 志颯	3年	東御東部
7	井出 涼太	3年	長野北部
8	権田 成也	3年	赤穂
9	岩下 俊輔	2年	緑ヶ丘

記録員 高田 健太郎
責任教師：大塚 雅也 監督：吉崎 琢朗



完璧な救援でチームを救う滝沢

ここまで無失策「守り勝つ野球」で頂点を目指す 選手権長野大会の開幕前、吉崎琢朗監督は「少ない失点で守り切りリズム良い試合運びを目指す」と語った。強力打線もさることながら鉄壁の守備陣がここまでチームの強さの原動力となっているのは間違いない。

今大会は故障で春の大会に出場できなかった滝沢の活躍が目立つ。初戦の伊那弥生ヶ丘戦では先発し勝利投手に。その後はリリーフとして存在感を放っている。4回戦塩尻志学館戦で

は相手の流れになつて7回に登板し後続を断つた。この日も7回無死1、2塁の局面で救援「権田が作った流れを崩さないようにストライク先行で投げる。絶対に負けない」と意気込み、東海大諏訪打線を抑えた。ここまで無失策の守備陣も投手陣をバックアップしている。

盤石な投手陣の女房役は岩下俊輔(進学2年=緑ヶ丘)。この日は「ラッシャーが出たあとに落ちていて丁寧な投げてもらい簡単に打たれないようにすることを意識した」と先発の権田をリード。実際に何度もピンチを迎えるが要所を締め、自身も2度の捕殺を記録するなど躍動した。準決勝は25日(火)9時半から

長野オリンピックスタジアムで行われる。対戦相手の日本ウェルネス長野高校は打撃陣が好調。「守り勝つ野球」の真価が問われる試合となりそうだ。(水出 楓香)

編集後記

今年度最初の硬式野球部の号外、いかがでしたか？今回の試合を通して、硬式野球部の皆さんの雰囲気はさることながら、吹奏楽部やチアリーダー部の皆さんの雰囲気にも圧倒されました。なかを全力で頑張る人、それをまた全力で応援する人は輝いて見えるものですね！さて、今回の新聞では先日行われた準々決勝の様子をお届けしました。写真は臨場感溢れる物を選びました。現地で見てもそうでない方も是非読んでみてください！(樋口 華)

準決勝進出おめでとうございます！苦しい思いもしたと思いますが、日々練習に励み努力を重ねた皆さんを応援しています！(金井 茉優)

準決勝進出おめでとうございます。皆さんの力が報われ甲子園に出場できることを心より願っています！(水出 楓香)